

病理解剖の臓器試料の一部を、研究に用いさせて頂くのにあたっての情報公開について

## **研究の名称**

「脳小血管病の剖検脳における血管内皮活性化および炎症マーカーの検討」

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

## **研究機関の名称、研究責任者の所属・職位・氏名**

京都大学医学研究科 臨床神経学 教授 高橋良輔

三重大学医学部附属病院 認知症センター（脳神経内科） 准教授 新堂晃大

## **研究目的・意義**

脳小血管病は高齢者の脳でしばしばみられ、血管病変による認知症の原因となります。その発症機序として血管内皮の障害、血液脳関門の破綻、細動脈硬化による血管反応性の低下などが推定されています。しかし、そのメカニズム、治療については確立されていません。そのため、本研究では、脳小血管病の方の脳を用いて、血管内皮活性化および炎症マーカーを検討し、病態における役割を明らかにします。

## **研究実施期間**

対象期間：倫理委員会承認日から 2025 年 3 月 31 日

## **対象となる試料・情報の取得期間**

京都大学医学部附属病院脳神経内科において、昭和 54 年から平成 27 年 9 月までに病理解剖を施行させていただいた方の中で、脳小血管病と診断された方。また、疾患対照として、変性疾患、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓、髄膜炎と診断された方。

## **試料・情報の利用目的・方法および利用または提供する試料・情報の項目**

本研究を実施するにあたり、本学において病理解剖を施行させていただいた患者さんのホルマリン固定脳の一部を用いて、三重大学で、免疫組織化学的染色や病理学的検討を行わせていただきたいと思います。また、この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。

- ・ 患者背景：年齢、性別、現病歴、既往歴、診断名、合併症の有無と疾患名
- ・ 検査結果：血液検査、髄液検査、頭部 CT、脳 MRI、脳血流シンチグラフィ

### **試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称**

三重大学医学部附属病院 認知症センター（脳神経内科） 准教授 新堂晃大

### **本研究に関して、お問い合わせいただくための手段について**

本研究に関して、ご遺族の問い合わせが可能なように、本研究の内容、実施者、問い合わせ先について京都大学脳神経内科ホームページ内に掲載いたします。

研究や個人情報に関する問い合わせや、研究への利用停止、研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧を求められた場合には、研究対象者のご遺族であることを確認させていただいた上で、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、速やかに対応します。

### **研究資金と利益相反について**

本研究は、三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学講座の奨学寄附金（企業以外）を使用します。本研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。利益相反について、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

### **研究対象とさせていただく方の関係者からの求めや相談等への対応方法について**

本研究課題の相談窓口：京都大学医学部附属病院 脳神経内科 澤本伸克(人間健康科学科) (Tel) 075-751-3111

京都大学の相談窓口：京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 (Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp